

雑誌月間に際して ロータリーの友で知るロータリー

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



4月は雑誌月間であります。ロータリーの雑誌と言えば、日本では「ロータリーの友」が代表であります。読まれざるベストセラーとも言われていますが、最近の、(と申しますと以前から読んでいたように聞こえますが、ガバナー職をいただく前は、あまり、目を通していませんでした。)ロータリーの友は大変良くできていると思えました。

本当は以前からよかったのだと思いますが、特に、特集は中身が充実しています。特に10月号の「渋沢栄一から読み解く21世紀の経営者精神」は職業月間に合致し、一般の経営者のためにも面白いと思えましたので、20冊ほど購入し、入会しそうな方に配りました。公式訪問にも数冊、鞆に忍ばせ、例会見学者の方があれば、その場で、卓話の内容のタイミングに合わせ、進呈いたしました。その内、2名の方があとで入会されたようであります。今、10月号は手元に3冊しか残っておりません。

クラブ公式訪問では、入会していただきたい方々に、『ロータリーの国際性、奉仕活動、歴史、友好性を知っていただくために、「ロータリーの友」を活用して下さい』と申してきました。クラブのパンフレットも必要でしょうが、毎月200円で、カラー製版で、これほどの内容の雑誌は、ロータリーを知るために最適の雑誌ではな

いでしょうか。ロータリアンのみならず、ロータリーを知っていただきたい方々に対しても、有用な雑誌と思います。

また、皆様の投稿もお待ちしています。意外と掲載される機会が多いように思います。自クラブの活動が掲載されますと、大変PRになります。表紙に写真が掲載された、当地区会員もおられます。まさに、みんなで作る「ロータリーの友」であります。

もうひとつの雑誌は、この「ガバナー月信」であります。当地区の様々な活動が掲載されています。予算の関係上、皆様からの投稿やご意見を受けられないのが残念であります。また、今年度、初版の7月号は全会員に配布しましたが、それ以外はクラブの役員の方々にしか配布できないことも合わせて残念なことであります。

ガバナー月信は地区のホームページから見る事が出来ますので、是非ともご活用願えれば幸いです。

今や、ホームページも雑誌の一部であると思います。少しずつではありますが、「ロータリーの心と実践」など掲載を増やしております。

各クラブの奉仕活動も掲載しておりますので合わせてご活用をお願いいたします。